

Indonesia Weekly

2019年11月11日



(対象期間：2019/11/4～2019/11/8)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年11月8日)



【株式市場】

週の前半は、パーム油価格が堅調に推移していることを背景にプランテーション株が上昇しました。また、世界的な在庫の減少を背景に、パルプ、ペーパー株が堅調となったほか、石炭株も中国の需要回復期待などで堅調となりました。一方、ジョコ大統領が銀行貸出金利の低下を望むと発言したことから、銀行株は下落し、株式市場全体も週間で下落しました。セクター別では、基礎産業・石油化学、農業などが上昇した一方で、消費財、建設・不動産などは下落しました。

2019/11/1	2019/11/8	変化率
6,207.19	6,177.99	-0.47%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年11月8日)



【債券市場】

米中通商交渉の進展期待を背景に、世界的にリスクオンとなる中で、外国人の堅調な資金流入が見られました。5日に行われた国債入札では、引き続き投資家の強い需要が見られ、今年3番目の応募額となりました。発行額は24.3兆ルピアと当初発行予定額を大きく上回り、入札結果発表後も利回りは低下（価格は上昇）しました。週末にかけては利益確定売りなどが見られ、利回りはやや上昇（価格は低下）しました。

2019/11/1	2019/11/8	変化幅
7.019	6.975	-0.044

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年11月8日)



【為替市場】

ルピアは対円、対米ドルともに先週比で上昇しました。米中の通商協議の進展期待を背景に世界的にリスクオンとなったことから、ルピアも堅調となりました。5日、第3四半期の国内総生産（GDP）が発表され、前年同期比+5.02%と3四半期連続の減速となりましたが、市場への影響は限定的でした。一方、7日に発表された10月の外貨準備高は、グローバル債の発行や石油ガス産業の為替差益などを背景に、2カ月ぶりの増加となりました。

2019/11/1	2019/11/8	変化率
0.7690	0.7795	+1.37%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号ノ加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ